ブルペンズ・ニュース

福岡少年野球情報【瓦版】

Let's Play Ball !!

第32号（平成28年6月6日号）

■編集・発行：株式会社ブルペンズ（代表：吉田光寛）
・〒818-0139 福岡県太宰府市宰都 1-13-11
・Tel：092-577-9163 ・Fax：092-775-2284
■発行日：毎月第１・第３月曜日（西日本新聞の朝刊）
■発行部数：33,700 部
■発行地域：福岡市（中央区・博多区・西区）、宇美、大野城、小郡、大牟田

会社HP

☆当紙面は折り込み以外にも・・・ブルペンズ・ショップ（http://store.shopping.yahoo.co.jp/bullpens-shop/）でご購入頂けます。

「スリランカ海軍野球チーム」の全選手が初来日！技術を学び、交流を楽しんだ6日間！

（写真上）スリランカ海軍野球チームと嘉麻市バーニングヒーローズの集合写真／多くの方が見守る中、嘉麻市内で国際親善試合を行い交流を深めた。

（写真右）北九州市立大学硬式野球部との交流。バントや投球などの技術を学んだ。

（写真右）善意の野球道具を贈られて笑顔を見せる選手たちとスジーワ氏

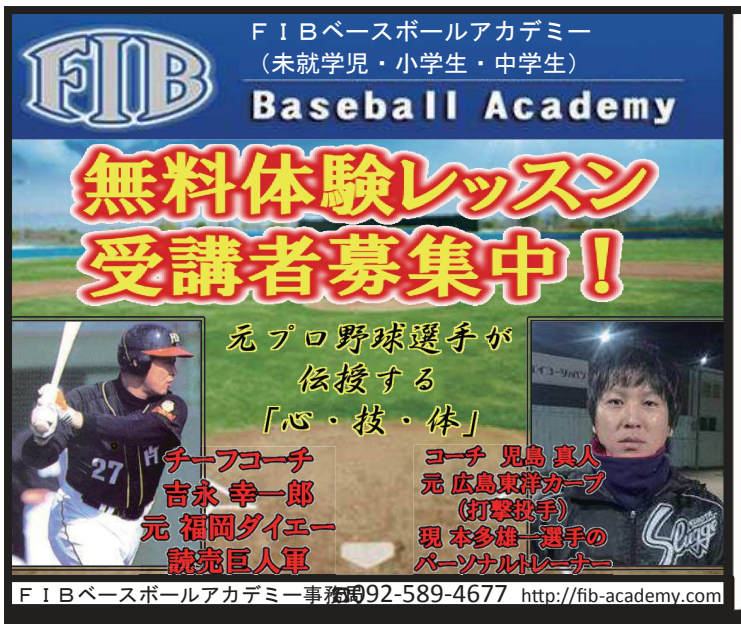
スリランカ選手と「心の野球」で国際交流

国際親善試合と野球道具の寄贈

スリランカ全国クラブ選手権大会２０１５年の優勝チーム「スリランカ海軍野球チーム」が来日し、社会人のクラブチームと国際親善試合を行った。一行は、スリランカ人初の国際審判員で福岡県を拠点に野球を通じた世界平和を目指すスジーワ・ウィジャヤナーヤカ氏（３２）ら多数の尽力で全選手が初来日。５月１９日から５泊６日の日程で北九州市内に滞在し、各地のグラウンドで深めた交流を楽しんだ。まず２０日、北九州市立大学硬式野球部グラウンドで同大学の徳永政夫監督、選手らのサポートで実践練習に臨み、バント、投球、打撃、シートノック、クールダウン、アイシングの技術などを学びながら親交を深めた。翌２１日には「北九州市民硬球クラブ＆福岡オーシャンズ９」と北九州市内で、２２日には「嘉麻市バーニングヒーローズ」と嘉麻市内でそれぞれ対戦。勝負には負けたものの抜群のチームワーク、圧倒的な身体能力、守備位置につく時にラインに沿って一列に並び、全員で脱帽し一礼してから各ポジションへ全力疾走で向かうなどの振る舞い、そして何よりも常に全力で白球と向き合う真摯なフェアプレー精神は、多くの人の共感を呼んだ。また、今回の試合ではスジーワ氏が一番伝えようとした日本の野球＝「心の野球」の象徴である送りバントも実際に選手たちは決めることが出来た。今回の来日にあたり、スジーワ氏は「株式会社アメイズの穴見社長をはじめ、多くの方のお陰でまたひとつ夢が叶い、心から感謝の気持ちでいっぱいです。野球に出会って私は人生が変わった。そして、日本の皆さまにここまで育てて頂いた。今度は私が母国の仲間や後輩を応援したい。そして野球を通じて両国の架け橋となり、野球を通じた世界平和を目指していくことで、スリランカ野球の発展にご尽力頂いた日本の皆さまにご恩返ししていきたい」と語った。また対戦相手をはじめ、全国各地からスジーワ氏の元へ寄せられた２tトラック一台分の野球道具が、「スリランカ海軍野球チーム」を通じて同国へ寄贈された。選手たちも目を輝かせながら大喜び。中には、「一球の後悔」とつばに書かれた野球帽や何度もリペアされたキャッチャーミットなども。思い出いっぱいのはずの一生の宝物をスリランカへ託し、次代に夢をつなげようとする日本人の願い、野球道具に宿った野球に対する情熱や魂、そして両国で育まれた友情はきっと時空を超えてスリランカで生き続け、多くの人たちの夢を育んでゆくことだろう。

嘉麻市バーニングヒーローズ・井手学コーチ（左）とスジーワ氏（右）

嘉麻市バーニングヒーローズコーチとして長男・和馬さんと共に対戦した井手学さん～原点回帰～「点差は開きましたが、見たままの点数とは違う何かがスリランカ野球にはありました。それは、我々日本人が忘れかけていた『野球を楽しむ心』です。目を輝かせながら楽しそうに白球を一生懸命に追いかける姿は、我々に多くのことを気付かせてくれました。特に、長男の和馬（佐賀北高校の遊撃手として２００７年夏に全国優勝）は父親から見てもいつの間にか、宿命的に野球をする事が義務付けられてしまい、最近は純粋に野球を楽しんだ事は全くと言っていいほど無かったはずでした。それが今回、スリランカの選手達のひたむきなプレーに触発され、誰よりもユニフォームを真っ黒にして、とても楽しそうにプレーしていました。まるで、目を輝かせながら白球を追いかけていた小学生時代の『野球小僧』に戻ったみたいでした。スリランカの選手個人に目を向けてみると、とにかくビックリしたのが個々の身体能力の高さです。特にキャッチャーの選手は日本でもっとプレーさせてあげたいと思うほど。リリーフした投手も、同じストレートでも毎球回転が違う上に球質も無茶苦茶重く、制球が定まれば面白い存在になるはず。スリランカ野球の将来に、大きな可能性を感じた一日でもありました。本当に試合できてよかった！いつか、また是非対戦させていただきたいです。それにしても野球って本当に素晴らしい！

今年最初の県大会！！優勝は、吉富少年野球クラブ！！

第20回福岡県学童春季軟式野球県大会
【日程】平成28年5月14日（土）・15日（日）・21日（土）
【会場】飯塚市営筑穂野球場、飯塚市営穂波野球場
【出場】福岡県8支部の代表16チーム
▽一回戦（5月14日）
甘木ゴールデンフェニックス（北筑後） 6対3 国分少年野球（福岡）
浅川ベアーズ（北九州） 7対3 大川ジュニアパワーズ（南筑後）
神興ヤンキーズ（東福岡） 9対2 小森野ウイングス（久留米）
吉富少年野球クラブ（京築） 4対1 筑穂ヤングファイターズ（筑豊）
古賀東エンゼルス（東福岡） 7対0 高取少年野球クラブ（福岡）
三輪スポーツ少年団軟式野球部（北筑後） 3対1 庄内ジャガーズ（開催地／筑豊）
高良内レッドタイガース（久留米） 7対0 弓削田パワーズ（筑豊）
光貞ジェッターズ（北九州） 6対3 柳川両開フレンズ（南筑後）
▽準々決勝（5月15日）
甘木ゴールデンフェニックス 2対1 浅川ベアーズ
吉富少年野球クラブ 7対0 神興ヤンキーズ
三輪スポーツ少年団軟式野球部 2対1 古賀東エンゼルス
光貞ジェッターズ 4対2 高良内レッドタイガース
▽準決勝（5月21日）
吉富少年野球クラブ 3対2 甘木ゴールデンフェニックス
三輪スポーツ少年団軟式野球部 2x対1 光貞ジェッターズ
▽三位決定戦（5月21日）
甘木ゴールデンフェニックス 7x対6 光貞ジェッターズ
▽決勝戦（5月21日）
吉富少年野球クラブ 9対1 三輪スポーツ少年団軟式野球部
★優勝＝吉富少年野球クラブ
★準優勝＝三輪スポーツ少年団軟式野球部
★第三位＝甘木ゴールデンフェニックス
※優勝した吉富少年野球クラブは和歌山県で開催される『第21回高野山旗西日本学童軟式野球大会』に出場する。
※準優勝した三輪スポーツ少年団軟式野球部と第三位になった甘木ゴールデンフェニックスは大阪府で開催される『第23回西日本学童軟式野球大会』に出場する。